

令和4年度 第6学年 国語年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	つないで、つないで、一つのお話 春の河／小景異情 続けてみよう 帰り道 地域の施設を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき 聞いて、考えを深めよう 漢字の広場1 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 主張と事例 話し言葉と書き言葉 たのしみは 文の組み立て 天地の文 情報と情報をつなげて伝えるとき 私たちにできること 夏のさかり 私と本 森へ せんねんまんねん いちばん大事なものは 利用案内を読む 熟語の成り立ち 漢字の広場2 やまなし イーハトーヴの夢 言葉の変化 秋探し みんなで楽しく過ごすために 伝えにくいことを伝える 漢字の広場3 『鳥獣戯画』を読む 調べた情報の用い方 日本文化を発信しよう 古典芸能の世界ー演じて伝える カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場4 狂言 柿山伏 [柿山伏]について 大切にしたい言葉 漢字の広場5 冬のおとずれ 詩を朗読しようかいしよう	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
2	仮名の由来 メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために プログラミングで未来を創る 漢字を正しく使えるように 覚えておきたい言葉 人を引きつける表現 思い出を言葉に 今、私は、ぼくは 漢字の広場6 海の命 中学校へつなげよう 生きる 今、あなたに考えてほしいこと	
3		
〈授業の工夫〉 ○お互いの立場や意図を明確にしながら話し合ったり、自分の考えと比較しながら聞いたりして、楽しんで表現することができるよう言語活動を工夫します。 ○テストの結果だけではなく、学習過程における児童のよい点や可能性、工夫したことや努力したこと、進歩の状況などを評価し、意欲をもたせる工夫をします。		
〈評価について〉 ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人々との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、話し合い活動の様子などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○漢字の定着を図るために、漢字ドリルや漢字学習ノートを使います。 ○進んで読書をするために、ゆめのくに図書館の本を活用します。		

令和4年度 第6学年 社会年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	わが国の政治のはたらき 1 憲法と政治のしくみ 2 わたしたちの願いと政治のはたらき 日本のあゆみ 1 大昔のくらしとくにの統一 2 天皇を中心とした政治 3 貴族が生み出した新しい文化	【知識及び技能】 ○我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。
2	4 武士による政治のはじまり 5 今に伝わる室町の文化と人々のくらし 6 戦国の世の統一 7 武士による政治の安定 8 江戸の社会と文化・学問	
3	9 明治の新しい国づくり 10 国力の充実をめざす日本と国際社会 11 アジア・太平洋に広がる戦争 世界のなかの日本とわたしたち 1 つながりの深い国々のくらし 2 国際連合と日本の役割	
<授業の工夫> ○見学、ICT、図書資料を活用して問題を解決する調べ学習を行い、調べたことを表現する場面を作っていきます。 ○日常生活と政治の動きの関係を理解するために、身近な公共施設を学習します。		
<評価について> ○单元ごとのテストやワークシートなどをもとに、我が国の政治の考え方や仕組みや社会の発展に大きな働きをした先人の業績を踏まえて、大まかな歴史を理解しているかを評価します。 ○発言や話し合い活動で考えたことや選択・判断したことを説明し、評価します。 ○ノートやワークシートの記述から社会的事情について主体的に学習の問題を解決しようとする態度を評価します。		
<学習方法など> ○テレビや新聞で、政治や歴史、他の国々について流れる情報について関心がもてるような働きかけをします。 ○知識を記憶するのではなく、歴史の事象の原因や理由を自分で考えることができるようにします。 ○調べ学習、インターネットの利用などから情報を得る活動を通して、国際社会における日本の役割について考えられるようにします。		

令和4年度 第6学年 算数年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	1 つり合いのとれた図形を調べよう 2 数量やその関係を式に表そう 3 分数のかけ算を考えよう 4 分数のわり算を考えよう ※分数の倍 5 割合の表し方を調べよう ※算数で読みとこう	【知識及び技能】 ○分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
2	6 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう 7 円の面積の求め方を考えよう 8 角柱と円柱の体積の求め方を考えよう 9 およその面積と体積を求めよう ※考える力をのばそう 10 比例の関係をくわしく調べよう 11 順序よく整理して調べよう ※考える力をのばそう 12 データの特ちょうを調べて判断しよう ※算数で読みとこう	【思考力・判断力・表現力等】 ○数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。
3	13 算数の学習をしあげよう ※算数卒業旅行 ※新しい算数プラス	【学びに向かう力・人間性等】 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○技能の習熟や維持を図るために適宜練習の機会を設けて、計画的に指導します。 ○事象の観察とともに既習事項との関連を意識させ算数の学習場面から問題を見出し、問題解決の思考対象を明確にして主体的に解決を図れるようにします。 ○図や式などを活用して問題解決の過程やその結果を分かりやすく表現し、ノートを見合いながら他者と考えを伝え合いながらよりよいものを求めて粘り強く考えられるようにします。		
〈評価について〉 ○基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、小学校での算数の学習で身に付けた技能を生かしながら、適切な数理的な処理や表現ができ、発展的な場面においても活用可能な技能になっているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりしているか。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しているか、問題解決の結果を常に評価・改善し続けようとしているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、分度器の使い方などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○算数の学習内容の定着を図るために、既習内容の復習プリントを継続的に取り組みます。 ○計算処理の確実な定着を図るために、ドリル学習やプリント学習を繰り返し行い、多くの問題に触れることができるようにします。 ○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。		

令和4年度 第6学年 理科年間学習計画

学期	学習内容	年間学習目標
1	ものの燃えかたと空気 人や動物の体 植物の養分と水の通り道 生物のくらしと環境 てこのしくみとはたらき 月の形と太陽	【知識及び技能】 物質・エネルギー ○燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2	大地のつくりと変化 火山の噴火と地震 水溶液の性質 科学者の伝記を読もう	【思考力・判断力・表現力等】 物質・エネルギー ○燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、主にそれらの働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。
3	電気と私たちの生活 人と環境 考えよう調べよう 6年生で学んだこと もうすぐ中学生	【学びに向かう力・人間性等】 物質・エネルギー ○燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○理科における資質・能力を育むために主体的に活動することができるようになります。 ○単に実験の結果を覚えるだけの活動とならないよう、子供が主体的、協働的、対話的になる学習過程として、①問題の見だし②見通しの発想③解決方法の発想④結果の整理⑤考察と道筋に沿って学習を進めます。 ○「違いを見付ける」「既習事項と関係付ける」「問題や見通しと、結果の一致、不一致を判断する」といった学びの『すべ』を獲得していくことができるよう、問題解決の過程を適切に指導します。 ○指導内容に応じて、タブレットや視聴覚機器を活用して指導します。		
〈評価について〉 ○单元ごとの評価テストと合わせて、ノート記述や観察シート、実験レポート、実験計画書などをもとに評価します。 ○条件を制御しながら調べる活動を通して、予想や仮説を基に、解決方法を発想し、表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価します。また、安全面に配慮して取り組んでいるかも評価します。		
〈学習方法など〉 ○学習の成果と日常生活との関連を図り、自然の事物・現象について実感を伴って理解できるようにします。 ○テレビや新聞などで流れる自然や環境についての情報に関心をもたせ、自然環境を大切に、保全に寄与しようとする態度を育成します。 ○ICTを活用し、視覚的に学んでいきます。		

令和4年度 第6学年 音楽年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	○歌声をひびかせて心をつなげよう 明日という大空 おぼろ月夜 星空はいつも ○いろいろな音色を感じ取ろう ラバーズ コンチェルト 木星 ボイスアンサンブル ○旋律の特徴を生かして表現しよう われは海の子 メヌエット	【知識及び技能】 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲の演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
2	○いろいろな和音のひびきを感じ取ろう 星の世界 雨のうた 和音の音で旋律づくり ○曲想の変化を感じ取ろう 思い出のメロディー ハンガリー舞曲 第5番 風を切って ○詩と音楽の関わりを味わおう 滝廉太郎の歌曲 ふるさと	【学びに向かう力・人間性等】 ○主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
3	○音楽会を成功させよう 音楽会の楽曲 ○日本や世界の音楽に親しもう 越天楽今様 雅楽「越天楽」 世界の国々の音楽 ○音楽で思いを伝えよう きっと届ける 卒業式の曲 君が代	
〈授業の工夫〉 ○自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を主体的に伝え合う場を多く設定します。		
〈評価について〉 ○題材の表現や技能だけでなく、主体的に音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を、学習カードや音楽活動を通して評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら主体的に取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価します。		
〈学習方法など〉 ○感染症対策を十分に行いながら、様々な活動方法を工夫します。 ○長期休業中には、技能習熟のためにリコーダーを持ち帰り、家庭練習をするように計画します。		

令和4年度 第6学年 図画工作年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	水の流れのように 想像の翼を広げて くるくるクランク	【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。材料や用具を活用し、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
2	光の形 アミアミアミーゴ 墨であらわす ひらいてみると	
3	いっしゅんの形から 筆あと研究所 味わってみよう和の形 動きをとらえて 12年後の私 見つめて広げて	
〈授業の工夫〉 ○主体的・意欲的に造形活動に取り組めるように、毎時間「めあて」を示し、見通しがもてるようにします。 ○各学年の発達段階に応じて、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。		
〈評価について〉 ○一人一人の活動の様子や作品の制作過程から、本人の思いや創意工夫を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、鑑賞の時間を設定し、記述内容を見ていきます。 □2学期の評定は、1学期の評価も加えて行います。		
〈学習方法など〉 ○児童の作品を定期的に廊下へ掲示し、友達の仕事のよさを学び合える環境作りをしていきます。		

令和4年度 第6学年 家庭年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	1 生活時間をマネジメント ①どのように時間を使っているのだろう ②時間の使い方に課題はないだろうか ③生活時間を工夫しよう 2 できることを増やしてクッキング ①「ゆでる」と「いためる」はどちらがうのだろう ②いためておかずを作ろう ③朝食に生かそう 3 クリーン大作戦 ①なぜそうじをするのだろう ②知ってるかな、そうじの仕方 ③身の回りを快適にしよう 4 すずしく快適に過ごす住まい方 ①暑い日はどのように過ごしているだろう ②すずしく快適な住まい方を知ろう ③エコ生活ですずしさアップを工夫しよう 5 すずしく快適に過ごす着方と手入れ ①どのような着方がすずしいだろう ②暑い季節を快適にしよう ③快適な衣生活を工夫しよう	【知識及び技能】 ○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
2	チャレンジコーナー 6 生活を豊かに ソーイング ①どのようなふくろを、どのように使っているだろう ②目的に合ったふくろを作ろう ③作ったふくろで生活を豊かに 7 こんだてを工夫して ①どのような料理や食品を組み合わせるとよいだろう ②1食分のこんだてを立てよう ③工夫して毎日の食生活に生かそう 生活の課題と実践(課題・実践) チャレンジコーナー 生活の課題と実践(発表)	【学びに向かう力・人間性等】 ○家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。
3	8 共に生きる地域での生活 ①地域の人びととの関わりを見つめよう ②地域でできることは何だろう ③やってみよう・ふり返ろう 9 持続可能な社会を生きる ①生活と環境のつながりを考えよう ②物やエネルギーをどう使うか ③環境のことを考えた生活を続けよう 2年間の学習をふり返って、中学校の学習に生かそう	

<授業の工夫>

○学校生活だけではなく、家庭生活においても学習したことを生かし、よりよい生活にするための工夫ができるよう、学習内容を広げていきます。

<評価について>

○家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、単元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価します。

○日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価します。

○家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力や人間性等は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価します。

<学習方法など>

○学習したことを家庭で生かしたり、調理や掃除などを家庭学習で取り組ませたりして、進んで家庭の仕事をする子供の育成をめざしていきます。

令和4年度 第5・6学年 体育年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動（柔軟・巧み） 体力テスト ネット型ゲーム（ソフトバレー等） 運動会に向けて	【知識及び技能】 ○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
2	水泳の安全について・水泳運動 走り幅跳び・投の運動（5年） 保健 病気の予防（6年） 短距離走・リレー 保健 心の健康（5年） ハードル走 ゴール型（バスケットボール等） 鉄棒運動 ベースボール型 （ソフトボール、ティーボール等） マット運動 体力を高める運動 保健 病気の予防（6年）	【思考力・判断力・表現力等】 ○自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。
3	体の動きを高める運動 （柔軟・巧み・力強さ・持続） 持久走 跳び箱運動 保健けがの防止 ゴール型（フラッグフットボール、サッカー等）	
〈授業の工夫〉 ○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行います。 ○自分に適した課題をもつと同時に、友達と協力して課題解決に取り組めるような場面を設定し、共に学ぶ合う授業づくりをします。 ○勝敗や競争（走）を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の向上や体力の高まりが感じられるようにします。		
〈評価について〉 ○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○学習カードを用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を行います。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子も観察し、評価します。		
〈学習方法〉 ○なわ跳びや持久走の学習で、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった練習方法や練習の場を選択することで課題解決に取り組めます。また、動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和4年度 第6学年 外国語年間学習計画

学期	学習内容	年間学習目標
1	Unit1 This is me! 名前や好きのもの・こと、誕生日を発表する。 Unit2 How is your school life? 世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活について伝え合う。 Unit3 Let's go to Italy. 行ってみたい国や地域と、その理由を説明する。 Check Your Steps 1 外国の人にメッセージを伝えよう	【知識及び技能】 ○外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
2	Unit4 Summer Vacations in the World 世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介する。 Unit5 We all live on the Earth. 地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表する。 Unit6 Let's think about our food 食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表する。 Check Your Steps 2 世界と自分のつながりを発見して紹介する。	【思考力・判断力・表現力等】 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
3	Unit7 My Best Memory 小学校生活の思い出を伝え合う。 Unit8 My Future, My Dream 中学校生活や将来について考え、夢を発表する。 Check Your Steps 3 クラスのみんなに寄せ書きのメッセージを伝える。	
〈授業の工夫〉 ○音声でのコミュニケーションに使う英語表現に慣れ親しむことで目的や場面、状況に応じた英語表現を活用できる児童の育成をめざします。 ○担任と英語指導アシスタントが協力し、主に児童のコミュニケーション能力の育成をめざします。 ○ICTを活用し、発表スライドを作成したり、画像を提示して伝えたりすることができる児童の育成をめざします。 ○ICTを活用し、音声教材を聞いたり、繰り返し練習したりする活動を効果的に取り入れます。		
〈評価について〉 ○活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、またコミュニケーションを通して自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができているか、正しいアルファベットを使って書くことができているかなどを評価します。		
〈学習方法など〉 ○外国語活動では、積極的に発話することや読むこと、書くことで、実践的なコミュニケーション能力が養われます。学習した英単語や簡単な英語表現を、生活の中で活用する機会を多く設けます。		

令和4年度 第6学年 特別の教科 道徳年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	道徳の時間とは よりよく生きる喜び 個性の伸長 希望と勇気、努力と強い意志 節度、節制 礼儀 よりよい学校生活、集団生活の充実 公正、公平、社会正義 相互理解、寛容 友情、信頼 親切、思いやり 自然愛護 生命の尊さ	(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 【第5学年及び第6学年重点目標】協働・創造 ○相手の考え方や立場を理解して支え合い集団生活の充実に努めること ○法やきまりの意義を理解し、責任ある行動をとること ○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること
2	規則の尊重 善悪の判断、自律、自由と責任 正直、誠実 相互理解、寛容 友情、信頼 よりよい学校生活、集団生活の充実 家族愛、家庭生活の充実 規則の尊重 親切、思いやり 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 勤労、公共の精神 感動、畏敬の念 生命の尊さ 感謝 国際理解、国際親善	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 (1) 年間を以下の4つの「学習のまとまり」に分けています。 ・4月から5月の学習のまとまり…自己を見つめる。 ・6月から9月の学習のまとまり…他者との関わりを見つめる。 ・10月から12月の学習のまとまり…成長する自己と向き合う。 ・1月から3月の学習のまとまり…より広く人や社会との関わりについて考える。
3	生命の尊さ 公正、公平、社会正義 国際理解、国際親善 真理の探究 善悪の判断、自律、自由と責任 希望と勇気、努力と強い意志 感謝 よりよく生きる喜び	(2) 学習指導要領に示された内容項目(第5・6学年)は、それぞれの学年において網羅されています。
〈授業の工夫〉 ・道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを大切にします。 ・道徳ファイルの活用を通して学習の連続性を重視し、振り返りや自己評価、道徳的価値の理解を深める一助とします。		
〈評価について〉 道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ワークシートへの記述をもとに肯定的評価をします。		
〈学習方法など〉 教科書とワークシートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。		

令和4年度 第6学年 総合的な学習の時間年間学習計画

学期	学習内容	年間学習目標
1	＜千葉の自然と文化＞ 千葉の自然や文化について知り、自然や文化を大切にするためにできることを考える。	【知識及び技能】 ○自分の生活や身近な地域にかかわる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
2	＜世界の人に日本のよさを伝えよう＞ 日本と豊島区の伝統・文化について調べ、日本のよさや自分たちの考えを伝える。	【思考力・判断力・表現力等】 ○自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
3	＜これからのわたしたち＞ 職業調べをして、自分の将来について考えたことや調べたことを発表する。	【学びに向かう力・人間性等】 ○自分の生活や身近な地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
＜授業の工夫＞ ○学習を振り返ったり、深めたり、広げたりすることができるよう、個別学習だけではなく、グループ学習の場を設定します。 ○ICTを活用して調べ学習を行ったり、発表したりします。		
＜評価について＞ ○テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシートなどの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 ○通知表には、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
＜学習方法など＞ ○以下の探究的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。（自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		